

## 福島県郡山市「郡山ブランド野菜協議会」支援金を助成

第2ステージ



福島県郡山市「郡山ブランド野菜協議会」が取り組む、「郡山ブランド野菜による食文化創造プロジェクト」の応援のため、日本フィランソロピー協会の協力のもと、支援金を助成しました。

2016年2月29日

農業

キリン株式会社（社長 磯崎功典）は、福島県郡山市「郡山ブランド野菜協議会」（会長 濱津洋一）が取り組む、「郡山ブランド野菜による食文化創造プロジェクト」への支援金として、総額 1,200 万円を公益社団法人 日本フィランソロピー協会（理事長 高橋陽子）の協力のもと 2月 29日（月）に助成しました。

福島の農業は、東日本大震災とそれに伴う原発事故の発生により、厳しい環境に置かれてきました。そのような中、「郡山ブランド野菜協議会」は、安全安心への取り組みに加え、野菜本来の品質や生産者の魅力で選ばれるような野菜作りに励むことを誓い、“おいしさ”や“栄養価の高さ”などの“ポジティブな情報”を数値化し、積極的に発信しています。郡山だからこそ育まれる価値や生産者の想いを伝え、おいしく喜んで食べることで、地元へ愛着や誇りを持っていただくことを目指しています。また、生産者だけでなく、料理人や飲食店、教育機関、観光、流通、消費者など、多岐にわたる連携を構築し、郡山市における農業、農産物の価値を高め、郡山を食の産地として訪れる人が増えることで、真の復興に繋がるといふ思いで活動を続けています。今回の助成金は、「郡山ブランド野菜」の食材としての魅力を最大限に引き出してくださる料理人とのネットワークを構築し、郡山市および福島県内外での認知拡大・情報発信、ブランド育成・生産拡大などに活用され、郡山市の農業、農産物の価値を高め、新たな食文化の創造、地域の活性化を目指します。

